

令和7年度 「魅力ある学校づくり地域協議会」 取組事例集



令和8年3月
宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課

目次	1
◎はじめに	2
◎魅力ある学校づくり地域協議会ってなに？	3
◎「地域学校協働活動推進員の配置に関する調査」の結果から 推進員の担い手確保のための取組・アイデア	4
地域学校協働活動推進員の活動を円滑に進める ための手法	5～7
[事例] 上河内中央小学校地域協議会	8
[事例] 横川中央小学校魅力ある学校づくり地域協議会	9
◎「地域未来塾実施状況アンケート」の結果から 放課後等の学習支援「地域未来塾」の実施において 工夫していること	10～11
[事例] 宮の原中学校地域協議会	12
◎むすびに	13

はじめに

本市の「魅力ある学校づくり地域協議会」は、保護者や地域住民が学校の課題や取組に対する意見交換を行うとともに、学校運営に反映するための協議を行う機能を備えています。そして、地域の子どもの育ちを学校任せにするのではなく、地域住民自らが主体的に地域の教育力を活かした子育てを行うため、前述の話合いの結果を受けて、協議会が自らの実践的な活動に結び付ける機能を併せ持っています。具体的には、国の「地域学校協働本部」の機能を取り入れ、地域の教育力を生かした学校教育の充実に向けた活動を実践し、学校を支援することを通して子どもの育ちを地域ぐるみで支えるとともに、携わる地域の大人も、大人同士のネットワークが形成され、結果として家庭・地域の教育力の向上に結びつくことを目的としています。

そのため、本市独自の機能として、家庭・地域の教育力向上に向け、研修会やフォーラムなどを通して、地域の大人が当事者意識を持ち自らも地域の子どもの育てる一員であることを自覚し、地域の子どもの育ちについて考え、地域ぐるみの子育てに参画するよう、家庭・地域に直接的に働きかける活動を実践する機能も併せ持っています。

国は、「地域学校協働本部」が〈①コーディネート機能、②多様な活動、③継続的な活動〉の3要素を備えていることが重要であるとしています。本市の「魅力ある学校づくり地域協議会」は、地域学校協働活動推進員を中心としたコーディネート機能を備え、多様な地域団体等の協力を得ながら、学校支援活動に留まらず、児童生徒の健全育成・安全確保活動や家庭・地域の教育力向上に係る活動など、多様かつ継続的な活動を実施してきました。これは、本市が、全国に誇れるものとなっています。

令和7年度は、「地域学校協働活動推進員の配置に関する調査」と「地域未来塾実施状況アンケート」の2つの調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。これらのアンケートの結果を踏まえ、アイデア・事例集を作成いたしました。本書が、それぞれの地域における「魅力ある学校づくり地域協議会」のよりよい活動につながり、地域全体で子どもを育む「地域の教育力」のさらなる向上にむけた参考となれば幸いです。

魅力ある学校づくり地域協議会ってなに？

「学校や子どもたちのために何かしたい」という思いを持った組織です！

学校とPTA、自治会などの地域団体、地域の企業などが一体となって地域の子どもの心豊かにたくましく育むため、共に考え、協力し、地域ぐるみで子育てに取り組んでいます。
宇都宮市内のすべての市立小・中学校区ごとに設立されており、学校を拠点にして、それぞれの地域の特性を活かした活動をしています。



【事業全体に関する問合せ】

宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL:028-632-2679

Mail:u4606@city.utsunomiya.tochigi.jp

家庭教育・地域人材グループ

宇都宮市 魅力ある学校づくり地域協議会

検索

HPはこちらからも!



推進員の担い手確保のための取組・アイデア

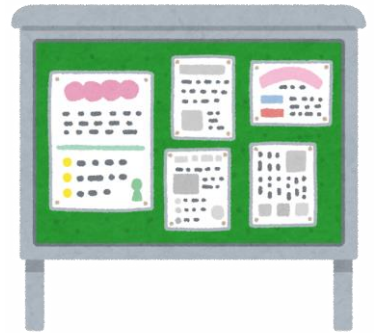
関係者との連携や機会の活用について

○PTA・保護者との連携

- ・役員さんへの声掛け
- ・役員さんからの情報収集
- ・理事会への参加
- ・PTA広報紙への魅力協の活動内容の掲載
- ・PTA活動の場での声掛けや広報掲示など
- ・チラシ配付や説明会での募集

○地域との連携

- ・地域で活動されている方への相談
- ・地域行事での声掛け
- ・地区市民センター等への募集案内の掲示
- ・ボランティア協力者への声掛け

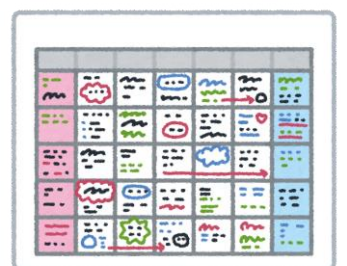


○魅力協との連携

- ・魅力協委員に声掛けし、それぞれのネットワークの中でさらに声掛けを行う
- ・魅力協委員に、今すぐにでなくても数年内に推進員の活動ができるかどうか声掛けをしている
- ・魅力協の行事への参加者への声掛け

チラシや便りの活用について

- ・活動を説明するチラシの作成・内容掲載, 回覧
- ・地域カレンダーの作成・内容掲載
- ・魅力協だよりでの募集
- ・地域の回覧板での募集
- ・学校からの便りでの募集
- ・定期的な募集チラシの配付(年度初め・年度途中・年度末など)



地域学校協働活動推進員の活動を円滑に進めるための手法

情報共有の充実

- ・推進員同士で連絡を密に取り合う(報告・連絡・相談)
- ・参集でのミーティング(定期, 不定期)
- ・活動日(週〇回など)を決め, 定期的に集まる
⇒学校と定期的に話す機会にもなる
- ・活動前の事前連絡により, 当日の活動が滞らないようにする
- ・必ず推進員同士で話し合っ決定する
- ・活動予定や活動報告, 意見などは情報共有し, 全員が同じ認識でできるようにする
- ・互いの地域の様子などについて情報交換をする

役割分担など

- ・魅力協担当教員と連携する推進員を決め, 窓口を一本化する
- ・各活動のリーダーを担う推進員が企画・実施を行う。
- ・互いの得意分野に関する役割を担当する
- ・互いの仕事のスケジュールに合わせて活動する
- ・年度初めに推進員間の役割分担を再確認する

活動計画・見直し

- ・魅力協の活動の年間計画を作成し, 活用する
- ・学校の年間予定作成と併せて, 魅力協関連の予定の雛形も年度初めに作成する。
- ・部会ごとの年間行事予定に基づいた打合せを行う。
- ・過去の活動や慣習となっている活動を見直す話し合いを行う
- ・打合せ等の日時をできるだけ定期的にし, 予定を組みやすくする

地域学校協働活動推進員の活動を円滑に進めるための手法

関係者との連携

○ボランティアとの連携

- ・各ボランティア活動において、中心となって動いてくれる方やボランティアメンバー同士の行動力を大事にする
⇒メンバーが細かい部分に気付いて対応して下さる
- ・推進員の活動日に合わせてボランティアも来校できるようにし、活動に協力していただいている
- ・ボランティア室(活動する部屋)の確保により活動しやすくなる

○学校との連携

- ・学校と定期的に参集し、活動報告等の情報交換を行う
- ・学校との連絡は窓口を一本化し、確実な情報を共有する
- ・推進員の来校日等のスケジュールを把握してもらう
- ・年度初めのミーティングで、年間の活動内容を話し合う
- ・年度末や年度初めに、活動したボランティア協力者の意見も参考にして、活動の企画等を行う
- ・年度初めに推進員と学校の役割分担を再確認する
- ・学校からの依頼事を集約する連絡ポスの設置
- ・会議の前に学校、会長、推進員とで打合せを行う

○魅力協やPTAとの連携

- ・PTA役員を交えてスケジュール調整などを行う
- ・保護者とのコミュニケーションをとり、活動に活かす
- ・魅力協委員の意見や提案を積極的に取り入れ、活動が円滑に進むようにする
- ・会議の場で各委員が自由に意見を話せる時間を設ける

地域学校協働活動推進員の活動を円滑に進めるための手法

スキルアップ

- ・研修会への積極的な参加
- ・推進員同士の市・県の研修会開催の情報共有
- ・参加した会議や研修会の内容を推進員間で共有する

心がけ など

- ・関係者とコミュニケーションを充実させることや、良好な関係を築くこと
- ・感謝や気遣いなど、小さな声の掛け合いを大切にすること
- ・無理のない範囲で、できることを行うこと
- ・時間に余裕をもった調整(人材が必要な場合など)
- ・地域の施設(コミュニティセンター等)を訪れ、情報収集を行う
- ・各推進員が、それぞれの活動する地域で、住民等と積極的にコミュニケーションをとる
- ・互いによく確認したり、分かりやすく伝えるよう努めること
- ・些細な疑問についても遠慮なく質問・相談できるようにすること

事務局から

各地域の活動の実施においては、多様な機会を捉えて、さまざまな立場の方々の協力を得ながら行っていただいていることがうかがえました。

魅力協の活動は、子どもたちにとって地域社会と関わるひとつの場であり、間近で地域の人々の活力ある姿を見て、温かさに触れ、自分自身もさまざまな形で携わっていくことのできる貴重な機会です。さまざまなコミュニケーションの方法がある現代ですが、このような、人と人が直接つながる機会は、益々重要になっていると感じます。

魅力協の活動によって、子どもたちと地域の人々とのつながりを構築することは、子どもたちの社会性を育み、社会へ参画する意識を養うなどの視点からも、多変意義のあることだと改めて感じました。

上河内中央小学校地域協議会

“楽しむ”ことを重視した地域学校協働活動推進員の活動



地域学校協働活動推進員や魅力協の委員が活動に関わり、活動を“楽しむ”ことを大切にしています。

例えば、羽黒山を望みながら約5kmの道のりを縦割り班で歩く学校行事「ゆずっこウォーキング」では毎年、魅力協のメンバーが児童の見守りを行います。子供たちが安全に歩けるよう支援しながら、魅力協のメンバー自身も、子どもたちと秋晴れの景色を見ながら歩くこと、会話によるふれあいを楽しむこと…を楽しみます。子供たちの素直さや個性あふれる反応が活動を実施していく原動力になり、子供たちとの距離を縮められます。ほかにも、持久走記録会のコース誘導や、「ゆずっこ写真展」「元気なあいさつ・ていねいな言葉づかい運動標語」の作品審査などに魅力協のメンバーが関わっています。

一緒に行くことによって味わえるよさがあり、そのように“楽しむ”姿を見てもらうことによって、推進員自身が「どんな活動をしているの?」と周りから声を掛けてもらうことが増え、魅力協や地域学校協働活動推進員の活動について伝えるきっかけにもなっています。



推進員の活動を円滑に行うための取組

学校の担当教員との連絡は、リーダーとなる推進員が行います。1人が窓口となることで、情報を集約して推進員全員に伝えることができます。

上河内中央小学校地域協議会では、登下校の見守りや読み聞かせ、図書整備、環境サポート、授業のサポートのボランティアを行っています。推進員が各ボランティア活動で担当を決めてコーディネートすることで役割分担ができます。“できる範囲で、できることを行う”ことを意識して活動しています。

カレンダーアプリを活用し、学校の年間行事と魅力協の活動をリンクさせて確認できるようにしています。このアプリを推進員で共有することでそれぞれが入力した内容を皆で確認したり、情報を共有したりすることができます。その日に行った活動の記録もしやすいため、推進員の活動日誌の作成にも役立ちます。

横川中央小学校魅力ある学校づくり地域協議会

思いをもつ方々の窓口に～さまざまなボランティアの形～



読み聞かせボランティア「ひまわり」

月に1回、朝の読書の時間に、子どもたちに読み聞かせを行います。低学年の子から高学年の子まで、多くの児童が楽しみにしている時間です。



“ボランティアをしてみたい”と思ってもいきなり活動するのは不安に感じる方もいるため、募集の際には、「参加希望」以外にも、「興味があるので、見学を希望する」「一度、話を聞きたい」「年に2～3回なら可能」など、ひとりひとりにとって参加しやすい入口を用意しています。

学習支援ボランティア

年に数回、午前中の活動日に以下のような、子どもたちの学習の充実などに向けた活動を行います。

- ☆教材プリントの印刷
- ☆図書補修作業・カバー付け
- ☆入学・卒業等の掲示飾り作成
- ☆クラスの掲示ファイル作成
- ☆夏休み作品や下野教育美術展の出品準備
- など

プチボランティア

決まった予定日に活動する学習支援ボランティアのほかに、検診時の児童の見守り・誘導や、校外学習の引率の手伝いなど、協力を得たい活動が発生したときに行われます。数日前にさくら連絡網で連絡があり、都合のつく方の協力で行われます。

卒業生学習支援ボランティア

児童が卒業を控える保護者の方々には、「卒業生学習支援ボランティア」のお声掛けをしています。卒業後も、学習支援ボランティアやプチボランティアの活動を続けることができ、お子さんが巣立った学校と子どもたちのために協力したいという思いを活かすことができます。

「子どもファースト」のために

魅力協として大切にしているのは「子どもファースト」の思いであり、その思いが楽しく、充実した活動につながっていきます。そして、その活動を支える魅力協やボランティア関係者である大人たちが、気持ちよく活動できるようにするために、“居心地のよさ”や、“いつでもどうぞ”、“無理なく、楽しく、支え合う”という空気感を大事にしています。推進員として活動するにあたっては、そのような思いが伝わるように心がけていきます。

放課後等の学習支援「地域未来塾」の 実施において工夫していること

学習支援員の確保

- ・回覧板で支援員の募集を行うことで、地域の方に広く声をかけることができ、問い合わせが多くなった
- ・支援員確保のため、ポスターを作成している

効果的な学習のための工夫

- ・教えてほしい意思を示すツールとしてヘルプカードを活用することによって質問をする生徒が増えた
- ・長テーブル1つに生徒1人が着席することによって、集中して黙々と自習に取り組み、分からないことを支援員に教えてもらいやすい環境を整えている
- ・事前指導を行い、地域未来塾の目的等を生徒に伝えてから実施することによって、参加する生徒の意識が変わる
- ・学校の会場で実施することによって、意欲を高めている
- ・複数人が座れる机のある特別教室を活用し、学習が苦手な生徒が質問しやすい雰囲気づくりをしている
- ・漢字や英語の検定など、生徒個人の興味・関心に応じた学習も可能としている



「ヘルプカード」
宮の原中学校地域協議会

放課後等の学習支援「地域未来塾」の 実施において工夫していること

生徒が参加しやすくするための工夫

- ・学級担任や教科担任から地域未来塾への参加を呼びかけ、参加しやすい雰囲気をつくっている
- ・夏休み中については、「8:30～10:00」、「10:20～11:50」の2コマに分けて実施し、各家庭や生徒本人の都合に合わせて参加しやすいように計画することによって、参加数が増えた
- ・実施直前に再度、さくら連絡網にお知らせしたことによって、その案内を見て参加を検討する保護者や生徒がいた
- ・前日または当日に、校内放送で呼びかけを行っている

実施における負担軽減等の取組

- ・魅力協が中心となって実施している。地域の協力者によって実施されているという意識によって、生徒が意欲的に学習に向かうようになった
- ・三者懇談及び教育相談中の短縮日課の日に実施し、16時30分には終了することによって、日直の施錠時刻を守れる
- ・帰りの会終了後15分程度経った時間から開始し、実施時間を90分間とすることによって、極力教職員の勤務時間に実施できるようにしている

事務局から

各魅力協において学校や生徒の実情を捉え、工夫しながら「地域未来塾」を実施していただいていることがうかがえました。

本市の地域未来塾の目的は、「学校の授業時間外での学習機会の創出による、生徒の自主学習時間の増加や学習習慣の定着」です。学校以外にも様々な学びの場がある現代ですが、地域のボランティアとコミュニケーションをとりながら、勉強を教えてもらえる地域未来塾は、生徒と「ナナメの関係」にある大人たちが関わる貴重な機会になります。魅力協が主体となって、地域の方々にご協力いただいで実施していくことで、教科の学習はもとより、生徒の人間的な成長などにもつながっていると感じています。

宮の原中学校地域協議会

子どもたちの学びの場「地域未来塾」のコーディネート



企画・計画

- ・前年度末に学校の年間行事予定に合わせて、学校と相談し予定を決めます。
➡“部活動のない日”など考慮すべき点を踏まえたり、昨年度の反省を生かしたりしながら、実施日の決定を行うことがまず大切だと考えています。

事前準備

- ・開始の約1か月前に、さくら連絡網で参加者の募集をします。昨年度から、募集チラシに二次元コードを載せ、申込フォームから保護者が申し込む方法にしました。学級でも担任の先生から声掛けをしてもらいます。
➡さくら連絡網での周知、申込フォームの活用により、より気軽に申し込めるようになったのではないかと感じています。
- ・申込締め切り後に、名簿作成などの準備を行います。

当日の準備

- ・名札(学習支援員用)・筆記用具・紙・ヘルプカードや受付の準備を整えます。
➡学習支援員さんが生徒に教えるために書いてくださった説明を、そのまま生徒に渡し、学習に活かせるように紙を使用しています。
- ・生徒は自由席ですが、見回りながら学習支援員が生徒の近くに座って教えられるように、生徒の席の近くに椅子を置いておくようにしています。

実施・運営

- ・生徒の受付(当日参加も可としています。)や見守り、片付けを行います。

実施後

- ・最終日にはアンケートを行い、生徒の感想を活動に活かせるようにしています。
- ・学習支援員への謝金支払い等の会計事務を行います。



ボランティア協力者等を増やすための取組

- ・推進員がPTA理事会に参加し、魅力協のことを話しています。中学校の3年間はとても短いため、人とのつながりを大切に、協力していただける方に活動の情報が伝わるように心がけています。
- ・地域未来塾においては、生涯学習課の学習支援員紹介を活用していますが、PTAに呼び掛け、独自に1名の支援員に協力いただくことができました。

むすびに

「宮っこ未来ビジョン2.0」においては、基本理念を「『心豊かでたくましく生きる人を目指して』一心の触れ合う『対話』と未来を切り拓く『創造』を通して」とし、その理念を実現するための7つの基本目標を定めています。そして、小・中学生の年齢にあたる少年期の目標を実現するための地域の支援として以下を挙げています。

- 子どもの意見や考えを尊重するよう努めます。
- 地域活動の計画・実行・評価を子ども自らに行わせ、問題解決能力を養うとともに、自主性の育成に努めます。
- 異年齢集団による活動などを通して、人間関係を形成する手法を身に付けるように努めます。
- 地域活動を通して、社会生活上、必要とされる基本的なルールを守る姿勢を身に付けさせます。

魅力協の活動である「地域学校協働活動」の場においては、まさに上に示されるような支援を行っていただいていることと思います。子どもたちは、充実した学びや体験活動を通して、地域の大人たちとの関わり、ふれあい、コミュニケーションをとりながら、愛情を注がれ、自分たちのために力を尽くしてくれる人たちがいると感じることで、自己肯定感を高めることや、地域への愛着を深めながら次世代の地域の担い手としての自覚を少しずつ高めていくことになります。

魅力協は、地域に根ざした特色ある活動を行うため、各地域の方々にご協力いただく必要があります。魅力協の皆様におかれましては、今後もそれぞれのネットワークを活かし、多くの方々のご協力いただきながら活動を実施していただきますよう、お願い申し上げます。

「魅力ある学校づくり地域協議会」 取組事例集

発行:令和8年3月 宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号 宇都宮市役所
TEL 028-632-2674, 2679
FAX 028-632-2675
E-mail u4606@city.utsunomiya.tochigi.jp
